

イラン

主要データ

国名〔英名〕	イラン・イスラム共和国〔Islamic Republic of Iran〕
面積 (km ²)	1,648,195
海岸線延長 (km)	2,440
人口 (百万人)	66.4
人口密度 (人/km ²)	40.3
GDP (百万 US\$)	335,233
一人当り GDP (US\$)	4,600
主要鉱産物：鉱石	銅、鉛、亜鉛、ポーキサイト、クロム、マンガン、モリブデン
主要鉱産物：地金	銅、鉛、亜鉛、アルミニウム
鉱業管轄官庁	Ministry of Industries and Mines
鉱業関連政府機関	Geological Survey of Iran、Iran Chamber of Commerce, Industries & Mines、Organization for Investment, Economic and Technical Assistance of Iran
鉱業法	Mining code of the I.R. Iran
ロイヤルティ	—
外資法	Regulations on Entry and Residence of Foreign Nationals in the Free Trade-Industrial Zones
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	—
鉱業公社	National Iranian Copper Industries Co.
鉱業活動中の民間企業	Iran Zinc Mines Development Company (IZMDC)、Bagh Darreh Mining Cooperative Co.、Iran Manganese Mining Company 等
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	—
2009年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年、ブラジルや中国等新興工業国との関係強化の動きが活発化している ・ 2010年5月、イランを訪問したブラジルのルーラ大統領は、イランとの経済的協力関係を確認。これを受け両国は、鉱業と地質に関する協力合意書に署名 ・ 2010年12月、イラン ALPHACO 社が操業する電解アルミ工場の建設に関し、中国の銀行からのファイナンスにより、中国有色金属建設株式有限公司が受注

1. 鉱業一般概況

- ・ イランは、多様な資源を潜在的に保有しており、62の資源を算出しており、世界でもトップ15に入る資源保有国である。
- ・ 10年にわたる開発プログラム(「2000～2004」及び「2005～2009」)が、実行されている。これによって、例えば、資源部門における国の需要と効率的な鉱物資源の生産を目的として、Mines and Mining Industries Development and Renovation Organizationが2002年に創設されている。

2. 鉱業政策の主な動き

- ・ エクアドルのGalo Chiriboga 鉱山・石油大臣が、2008年9月にテヘランを訪問した際、鉱物資源分野で2つの2国間協定を締結した。地質、鉱山、環境、水理に関する包括的な研究協力とリモートセンシングを用いて、エクアドルの金属、非金属資源のポテンシャルマップを作成していくもの。
- ・ 40以上の鉱山と鉱業関連産業(鉄鋼、銅、アルミニウム、アルミナ、鉄鉱石、コーク分野)の計画に、2009年に65億US\$が投資されると、工業鉱山省(Ministry of Industries and Mines)の計画宣伝(the Especial Committee of Plan Exploitation)特別委員会委員長が発表。(2009年5月3日)

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 鉱石生産量

鉱種	2008年	2009年	前年比増減率(%)
銅鉱石(千t)	254.8	261.7	2.7
鉛鉱石(千t)	22.7	19.9	-12.3
亜鉛鉱石(千t)	63.8	115.0	80.3
ボーキサイト(千t)	520.0	322.8	-37.9
クロム鉱石(千t)	200.0		0
マンガン鉱石(千t)	115.0		0
モリブデン鉱石(千t)	2.9	3.0	3.4

(出典: World Metal Statistics 2009)

(2) 地金生産量

鉱種	2008年	2009年	前年比増減率(%)
銅地金(千t)	210.0	210.0	0
鉛地金(千t)	78.8	78.3	-0.6
亜鉛地金(千t)	115.7	115.2	-0.4
アルミニウム地金(千t)	241.3	241.8	0.2

(出典: World Metal Statistics 2009)

(3) 地金消費量

鉱種	2008年	2009年	前年比増減率(%)
アルミニウム(千t)	175.0	175.0	0
銅地金(千t)	144.0	96.0	-33.3
鉛地金(千t)	68.0	64.0	-5.9
錫(千t)	2.4	1.6	-33.3
亜鉛(千t)	91.0	69.0	-24.2

(出典: World Metal Statistics 2009)

(4) 輸出入

なし

4. 鉱山・製錬所状況

(1) 鉱山

以下の鉱山が、2009年5月29日現在、Iran mining & Related information centerで紹介されている。

鉱山名	鉱種	位置	都市	確定埋蔵量(t)	推定埋蔵量(t)	探鉱方法	年間生産能力(t)	品位	操業会社
Angouran	Lead and Zinc Ore	Zangan	Zanjan	23000000	25000000	Surface	250000 ton	N.A.	N.A.
Darreh Zanjir	Lead and Zinc Ore	Yazd	Taft	163,000	199,000	Underground	20,000	Lead 6.7 % Zinc 15 %	Kani Faravaran Tehran Co.
Goushfid	Lead and Zinc Ore	Isfahan	esfahan	N.A.	N.A.	Underground	N.A.	N.A.	Bama - Mining Co.
Kolah Darvazeh	Lead and Zinc Ore	Isfahan	esfahan	N.A.	N.A.	Underground	N.A.	N.A.	Bama - Mining Co.
Koushk	Lead and Zinc Ore	Isfahan	esfahan	2,000,000	3,500,000	Underground / Surface	120000	N.A.	Bafgh Mining Company
Maskani	Copper	Isfahan	Naeen	N.A.	N.A.	Surface	55,000	N.A.	Faraz Ma'aden Anarak Co.
Meidouk	Copper	Kerman	Shahre Babak	83,830,000	142,100,000	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.
Soungoun Ahar	Copper	East Azerbaijan	Ahar	440,000,000	2,200,000,000	Surface	7,000,000	Scarn Copper Grade: 0/5 %	National Iranian Copper Industries Company
Tappeh Sorkh	Lead and Zinc Ore	Isfahan	Naeen	N.A.	N.A.	Underground	N.A.	N.A.	Bama - Mining Co.
Venarch	Manganese Ore	Ghom	Ghom	3,800,000	6,000,000	Underground	70,000	Pyrolizite: TiO<0.2% Mn<40% Al2O3<15% Fe2O3<4% CaO<3% SiO2<10% Bironite: TiO<0.25% Mn<30% Al2O3<4.5% Fe2O3<10% CaO<14% SiO2<20%	Maaden Manganese Iran Co.

5. 我が国との関係

日本への輸入状況

鉱種	2008年	2009年	前年比増減率(%)
亜鉛地金(t)	140	140	
アルミニウム地金(千t)	5	5	
クロム鉱石(千t)	0	0	

(出典：日本貿易月表 2008.12)

6. その他トピックス

- ・ ロシアの支援を受けて、イラン南部ブシェールに建設中の原子力発電所が 2009 年に稼働すると発表(2008年11月18日)。稼働に向けた試験を 2009年25日に開始した。
- ・ アガザデ原子力庁長官が、中部ナタンツの核施設で 5,000 基のウラン濃縮用遠心分離機が稼働して

いることを明らかにした。(2008年11月26日)

- ・ イランが自国の原子力発電所及び核関連施設で高濃縮ウランの製造を企画していた、またはしている、という疑惑がかけられている。通常の原子力発電では低濃縮ウランで十分であり、高濃縮ウランを用いるのは原子爆弾の製造を狙っているからではないか、と疑われている。
- ・ イランは自ら加盟する核不拡散条約(NPT)の権利を行使しているものであり、核兵器は作らないと主張している。これに対し、非核保有国の核活動を監視している国連機関、国際原子力機関(IAEA)は、イランの主張に再三疑問を呈してきた。



図1. 主要鉱山位置図

(本部 小嶋吉広)